

「金色の風」栽培での GAPの取り組みを推進

県南広域振興局は6月12日、江刺総合コミュニティセンターでGAP（農業生産工程管理）の講習会を開きました。

金色の風生産者、関係機関、JAら69人が参加。金色の風においてGAPの取り組みを推進しブランド力や食の安心安全を向上させようと、基本の取り組み方や考え方を学びました。JA全農いわてのGAP支援チームアドバイザー技師の高橋昭博さんと、個人でもASIAGAPの認証を取得しているJA「金色の風」栽培研究会の小野正一会長が講師を務め、小野会長は作業時のヘルメットの着用や救急箱を携帯することなどの必要性を説いたほか、「経営を見直し改善を図るために、作業計画を立て実践、評価、改善を繰り返しましょう」と呼び掛けました。

今後もGAPの講習会等を通じ、生産者や消費者、流通業者の認知度向上を図っていきます。



GAPの取り組みについて講演する小野会長